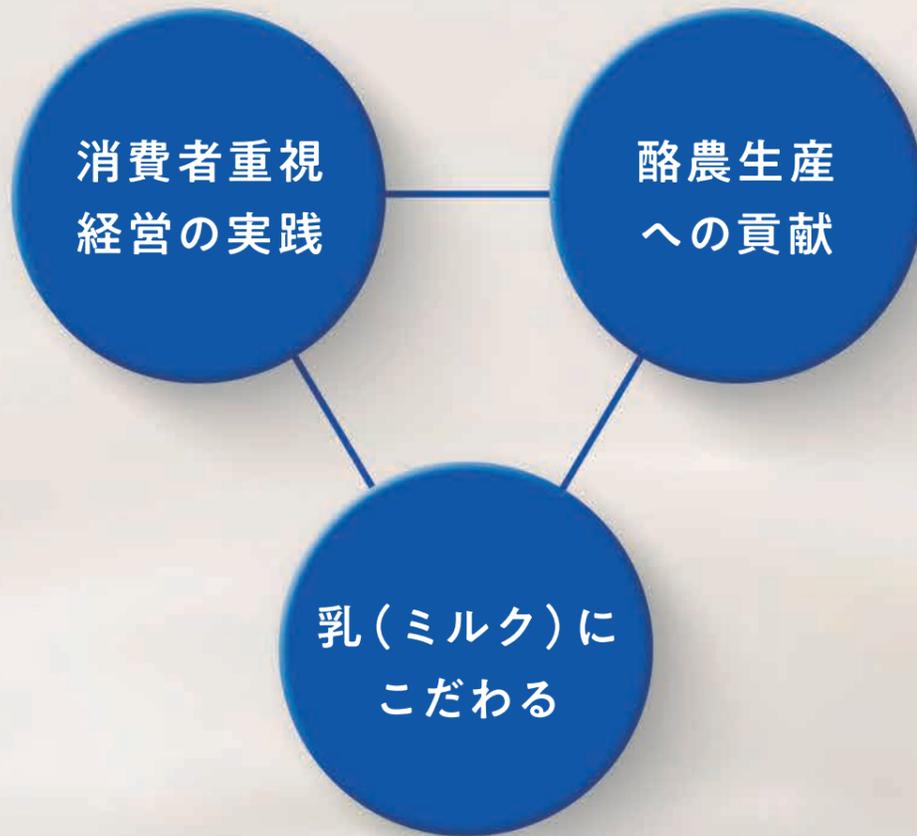


雪印メグミルクグループ グループ企業理念

雪印メグミルクグループの企業理念は、私たちの使命とコーポレートスローガンで構成します。

私たちの使命



コーポレートスローガン

未来は、ミルクの中にある。

私たちの使命

私たち雪印メグミルクグループは、3つの使命を果たし、
ミルクの新しい価値を創造することにより、社会に貢献する企業であり続けます。

消費者重視経営の実践 ▶P.3 消費者に向けた姿勢

雪印メグミルクグループは、消費者基本法に定められた「消費者の権利」と「事業者の責務」をしっかりと認識し、

- ◆ 安全で安心していただける商品・サービスを提供すること
- ◆ 可能な限りの情報提供、情報開示を行うこと
- ◆ 消費者の声を傾聴し、経営に反映していくこと
- ◆ 危機管理の体制を整え、不測の事態に迅速且つ適切に対応していくこと

を基本姿勢として、消費者重視経営を実践していきます。

酪農生産への貢献

私たち雪印メグミルクグループは、日本の酪農を基盤として成り立っています。

私たちは、酪農生産者の良きパートナーとして信頼関係を深め、乳の価値をしっかりと伝えていくことで生産者の想いに応えていきます。そして、牛乳・乳製品の需要拡大を実現することで、国内酪農生産の基盤の強化と持続的発展に貢献していきます。

乳(ミルク)にこだわる

私たち雪印メグミルクグループは、ミルクの持つ無限の可能性を信じ、ミルクに向き合い、ミルクにこだわり続けることで、ミルクの持つ可能性を「深め」、ミルクの価値を「高め」、世界に「拡げていく」ことを実現していきます。

健土健民

将来世代にも継承することができる持続可能な社会を目指して

「健土健民」は、雪印メグミルクの前身の一つである雪印乳業(株)の創業者の一人、黒澤西蔵が提唱した言葉です。「酪農は大地の力を豊かにし、その豊かな大地から生み出された牛乳・乳製品は、最高の栄養食品として、健やかな精神と強靱な身体を育む。」ということを意味しています。

黒澤西蔵は、「健土健民」の具体的な手法である「循環農法」の普及にも尽力しました。現代のサステナビリティにも通じる持続可能な農業への思いは、創業から約100年経った今も、雪印メグミルクグループに脈々と引き継がれています。

雪印メグミルクグループのサステナビリティ経営は、創業の精神「健土健民」を企業理念の原点として受け継ぎ、酪農乳業という事業を通じて社会課題の解決を図り、健全で豊かな環境を保全し、将来世代にも継承することができる持続可能な社会の構築を目指します。



■ 黒澤西蔵揮毫による「健土健民」の書
(雪印メグミルク本社所蔵)

循環農法とは

人と自然が共生し、「土から草、草から牛、そして、牛からのふん尿がたい肥となって、また土へと還る」という物質やエネルギーを循環させる農法

■ 循環農法図(「酪農と乳の歴史館」展示)



目次

雪印メグミルクグループについて

グループ企業理念・健土健民	P.1
目次/消費者に向けた姿勢	P.3
成長戦略	P.4
雪印メグミルクグループ 企業行動憲章	P.5
雪印メグミルクのあゆみ	P.7

トップメッセージ

トップメッセージ	P.9
----------	-----

雪印メグミルクグループの価値創造

価値創造プロセス	P.17
バリューチェーン	P.19
事業概要	P.23
主なグループ会社	P.24
分野別事業概況	P.27
業績ハイライト	P.33
財務担当役員メッセージ	P.35

成長を支える基盤・サステナビリティ

重要課題(マテリアリティ)	P.37
サステナビリティ担当役員メッセージ	P.39
乳(ミルク)による食と健康への貢献	P.40
環境負荷の低減	P.42
【特集】TCFDへの取り組み	P.43
持続可能な酪農への貢献	P.48
人事担当役員メッセージ	P.49
多様な人材が活躍できる職場の実現	P.50
人権	P.52
地域社会への貢献	P.54
サステナビリティ推進	P.56

コーポレート・ガバナンス

コーポレート・ガバナンス	P.57
取締役会	P.62
社外取締役メッセージ	P.65
コンプライアンス	P.66
リスクマネジメント	P.68

企業情報他

経営成績・財務分析	P.69
連結財務諸表	P.71
会社・投資家情報	P.73
編集方針	P.76

消費者に向けた姿勢

消費者基本法を根幹とした消費者重視経営

消費者基本法に定められた消費者の「8つ」の権利に引き合い、事業者の責務を果たすために、雪印メグミルクグループでは「4つ」の基本姿勢に基づく取り組みにより、事業者の責務を果たしていきます。

消費者基本法

※条文の内容をわかりやすくするために、数字をつけ表記

消費者の「8つ」の権利

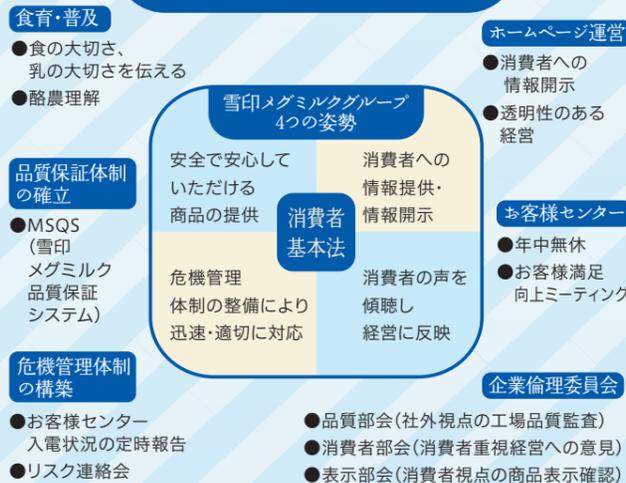
- 国民の消費生活における基本的な需要が満たされ、
- その健全な生活環境が確保される中で、
- 消費者の安全が確保され、
- 商品及び役務について消費者の自主的かつ合理的な選択の機会が確保され、
- 消費者に対し必要な情報及び
- 教育の機会が提供され、
- 消費者の意見が消費者政策に反映され、
- 並びに消費者に被害が生じた場合には適切かつ迅速に救済されること

事業者の「5つ」の責務等

- 消費者の安全及び消費者との取引における公正を確保すること。
- 消費者に対し必要な情報を明確かつ平易に提供すること。
- 消費者との取引に際して、消費者の知識、経験及び財産の状況等に配慮すること。
- 消費者との間に生じた苦情を適切かつ迅速に処理するために必要な体制の整備等に努め、当該苦情を適切に処理すること。
- 国又は地方公共団体が実施する消費者政策に協力すること。

向き合う

雪印メグミルクグループの取り組み



成長戦略

雪印メグミルクグループは、2017年、10年後の目指す姿として「グループ長期ビジョン 2026」を策定しました。2022年度は「生産性改革の推進」「事業構造改革の断行」「生産体制進化の本格始動」の3つの取組みを中心に成長戦略を推進していきます。

「グループ長期ビジョン 2026」

戦略のコンセプト

Transformation & Renewal
「変革」、そして更なる「進化」へ

事業ポートフォリオの変革 **Transformation**
事業成長を支える生産体制の進化 **Renewal**
グループ経営の推進 **Group Management**

基本戦略

- 事業ポートフォリオを変革し、新たな成長機会の創出と収益基盤の強化を図ります。
- 将来(10年後)に向けて、戦略的な調達・生産体制を構築し、競争基盤を確保します。
- 研究開発を起点とした「ものづくり」によって、新たな価値を創造します。
- 人材の多様性を尊重し、それを活かすことによって、生産性の高い、成長し続ける組織を構築します。
- グループ内の経営資源を有効活用して、企業グループ全体としての競争力・総合力の最大化を図ります。

「グループ長期ビジョン 2026」のロードマップ

	第1ステージ 2017-2019年度	第2ステージ 2020-2022年度	第3ステージ 2023-2026年度
位置付け	Transformation(変革)の始動 グループ経営の始動・推進	Transformation(変革)の加速 グループ経営の展開強化	Renewal(進化)へ グループ経営の加速・進化
役割	収益基盤の複数化および キャッシュ・フローの最大化 生産体制進化への着手	グループ収益基盤の確立 生産体制進化の本格始動	4事業分野 ^{*1} における 収益の安定的創出 生産体制進化の加速

取組みの柱

- 生産性改革の推進
- 事業構造改革の断行
- 生産体制進化の本格始動

基盤となる機能戦略

- 事業戦略に基づくTransformation(変革)とRenewal「生産体制の進化」の実現
- 「ものづくり」の強化と新たな価値創造
- グループ経営の推進によるグループ総合力の強化
- グループの持続的発展に向けた取組み

※1 乳製品、市乳、ニュートリション、飼料・種苗各事業分野

経営指標	グループ中期経営計画 2019	グループ中期経営計画 2022			長期ビジョン
	2019年度 実績	2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 予想	2026年度 目標
売上高(億円) ^{*2}	6,134	6,151	5,584	5,750	7,000~8,000 ^{*3}
営業利益(億円)	179	197	180	140	300~400
営業利益率(%) ^{*2}	2.9	3.2	3.2	2.4	4.3~5.0
EBITDA(億円)	341	356	350	315	—
					水準(目処)
設備投資額(億円)	約640(3年間計)	266	187	250	約2,800(10年間計)
自己資本利益率(ROE)(%)	7.1	8.1	6.0	—	8%以上
自己資本比率(%)	47.3	49.0	51.5	50%以上	50%以上
配当性向(%)	22.3	18.1	33.6	43.6	30%以上
有利子負債残高(億円)	693	793	722	—	—

※2 2020年度以前は「収益認識に関する会計基準」適用前の数値、2021年度以降は適用後の数値。
※3 「収益認識に関する会計基準」を適用していない数値。適用した場合、1割程度減少する見込み。

雪印メグミルクグループ 企業行動憲章

雪印メグミルクグループは、社会からの様々な要請に応え、サステナビリティ経営をより一層進めていくための理念・基本的な考え方を「雪印メグミルクグループ 企業行動憲章」として表しています。

雪印メグミルクグループ 企業行動憲章制定にあたり

雪印メグミルク株式会社の前身の一つである雪印乳業株式会社の始まりは、1925年(大正14年)、酪農家による酪農家のための生産組織「有限責任 北海道製酪販売組合」の設立にあります。創業者達は、「酪農は大地の力を豊かにし、その豊かな大地から生み出された牛乳・乳製品は、最高の栄養食品として、健やかな精神と強靱な身体を育む。」という崇高な理想「健土健民」を掲げ出発しました。

以来、酪農とともに歩みを進め、牛乳・乳製品を中心に多角化を図り、日本を代表する総合食品メーカーへと成長を遂げました。しかし、2000年の食中毒事件、2002年の牛肉偽装事件という2つの大きな事件により、それまでに築いてきた消費者の信頼を失い、会社存亡の危機に陥りました。私たちは、酪農生産者、関係行政、取引先など、関係者の支援のもと、再建に向けた幾多の試練を乗り越え、2009年10月、日本ミルクコミュニティ株式会社と雪印乳業株式会社を経営統合するために共同持株会社 雪印メグミルク株式会社を設立しました。そして、2011年4月に3社が合併し、現在の雪印メグミルク株式会社が誕生しました。

雪印メグミルクグループの企業理念は、『消費者重視経営の実践』『酪農生産への貢献』『乳(ミルク)にこだわる』の3つの使命を果たし、ミルクの新しい価値を創造することにより、社会に貢献する企業であり続けます。』であります。そして「未来は、ミルクの中にある。」のコーポレートスローガンにその想いが込められています。雪印乳業の創業の精神である「健土健民」は、雪印メグミルクグループの企業理念の原点としてしっかりと受け継いでいかなければなりません。その上で、2つの事件への反省を胸に、未来を見据えた責任ある企業でありたいと考えています。

現在、私たちを取り巻く社会は、地球温暖化など環境問題の深刻化、貧困や格差の拡大、人権問題の広がりなど、多くの社会課題を抱えています。私たちは、酪農乳業という事業を通じて社会課題の解決を図り、健全で豊かな環境を保全し、将来世代にも継承することができる持続可能な社会の構築を目指します。私たち雪印メグミルクグループは、その実現に向けた行動の規範として、ここに「雪印メグミルクグループ 企業行動憲章」を制定いたします。

雪印メグミルク株式会社
代表取締役社長
佐藤 雅俊
2021年6月1日制定

雪印メグミルクグループ 企業行動憲章

雪印メグミルクグループは、サプライチェーンのすべての段階において、「雪印メグミルクグループ 企業行動憲章」に基づき、関係法令、国際ルールおよびその精神を遵守し、高い倫理観のもと公正かつ誠実に行動していきます。

1. 持続可能な企業価値の向上と社会課題の解決

私たち雪印メグミルクグループは、雪印メグミルクグループの企業理念を実現するため、事業活動を通じて、企業価値の向上に努めるとともに、社会課題の解決を図ることにより持続可能な社会の発展に貢献します。

2. 消費者との信頼関係

私たち雪印メグミルクグループは、品質管理を徹底し、社会に有用で安全な商品・サービスをお届けします。また、消費者基本法に基づく「消費者の権利」と「事業者の責務」を認識し、商品・サービスに関する適切な情報提供や誠実なコミュニケーションを行い、消費者の満足と信頼を獲得します。万が一提供した商品に事故が発生した場合は、消費者の安全を最優先に考えて適切に対応します。

3. 公正な事業活動

私たち雪印メグミルクグループは、高い倫理観と責任感を持って、企業倫理(コンプライアンス)を遵守し、その徹底を図り、公正で透明かつ自由な競争に基づく事業活動を行います。また、反社会的勢力との取引・交友など一切の関係を持ちません。

4. 公正な情報開示、ステークホルダーとの対話

私たち雪印メグミルクグループは、消費者、酪農生産者、株主をはじめとするすべてのステークホルダーの理解と信頼が得られるように、企業情報を積極的、効果的かつ適時、適切に開示します。また、企業価値の向上を図るためにステークホルダーとの継続的な対話を通じて透明性のある経営を実践します。

5. 働き方の改革と職場環境の充実

私たち雪印メグミルクグループは、従業員の能力を高め、人格、多様性、個性を尊重する働き方を実現します。また、自由と活気に満ちた企業風土を構築し、健康と安全に配慮した、働きがいのある職場環境を整備していきます。

6. 環境問題への取組み

私たち雪印メグミルクグループは、気候変動への対応、水資源の有効活用、廃棄物の適正管理をはじめとした環境問題を人類共通の課題としてとらえ、サプライチェーンを通じて自然にやさしい技術・商品・サービスを開発していくことで、環境保全に取り組みます。

7. 人権の尊重

私たち雪印メグミルクグループは、サプライチェーンを通じて、基本的人権を尊重し、人種、国籍、性別、宗教、思想などの違いによる差別の禁止や、強制労働、人身売買、児童労働などの不当な扱いの禁止、安全かつ健康的な労働環境の提供などの取組みを進めます。

8. 危機管理の徹底

私たち雪印メグミルクグループは、平時より緊急事態が発生した場合のことを想定した準備を怠りません。火災や天災、事故などといった緊急事態が発生した場合は、人命を優先した上で、事業活動の維持継続・早期復旧に努めます。また、会社の財産を大切にし、個人情報をはじめとする機密情報を厳重に管理します。

9. 地域社会とのパートナーシップ

私たち雪印メグミルクグループは、「良き企業市民」として、すべての事業所において、積極的に社会に参画し、コミュニケーションを図ることで、信頼の絆をつくり地域社会の発展に貢献します。

10. 本憲章の徹底

雪印メグミルクグループの経営に携わる者は、本憲章の精神の実現が自らの役割であると認識し、グループ企業内への徹底を自ら率先して行います。あわせて、サプライチェーンにかかわるすべての人に本憲章の精神に基づく行動を促します。

雪印メグミルクのあゆみ

受け継いだ開拓者精神で、ミルクの価値と可能性を追求し、
更なる進化を遂げ、おいしさと健康をお届けし続けます。

創業以来、ミルクの価値と可能性を追求し、雪印メグミルクは進化を続けています。

これからも、研究開発を起点とした「ものづくり」によって新たな価値を創造し、おいしさと健康をお届けするとともに、持続的成長を目指します。



COLUMN 01 | 創業者たち

日本国内における安定的で豊かな食生活の実現という社会課題に対して酪農事業を通じて寄与してきました。

宇都宮 仙太郎 / 黒澤 西蔵 / 佐藤 善七

